

校門坂 ～ 輝く薩摩中央 ～

平成30年10月23日（火） 南日本新聞

南日本新聞に、本校が作成した町章をさつま町に寄贈したことが掲載されたので紹介します。農業クラブ全国大会意見発表会の会場として宮之城文化センターを借りるお礼です。

学校農業クラブ全国大会あすから

日本学校農業クラブ全国大会で、さつま町で開かれる意見発表会の運営を担う薩摩中央高校は22日、町に木製の町章を贈った。宮之城文化センターの演台用で、発表会の会場として同センターを借りるお礼。生徒と教員が手作りした。

町章は円形の台座を含め直径45センチ、厚さ5センチ。県産スギ材から糸ノコで切り出し、立体的に見えるよう厚みやデザインを工夫した。24日の本番ではクラブ連盟のエンブレムが演台を飾るが、町民大会など町主催の行事で活用されるとい

さつま・薩摩中央高 生徒らが手作り

演台用の町章を寄贈



生徒実施委員長の坂下陸さん（左）は「町の皆さんに学校の技をアピールできた。大会で訪れる人には、温泉など地元の魅力を伝えたい」と意気込む。同校は会場に飾る花のプランター60台も大会後、町へ寄贈する。（本坊弓子）

演台用の町章を贈る生徒実施委員長の坂下陸さん（左）と日高政勝町長
＝22日、さつま町役場